

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター  
二十年の発掘成果展

# 自然と人間、 地中に埋もれた

# 命の対話



Dialogue between **LIVES**: Human and Nature



2007年

**6月5日(火)~17日(日)**

10:00~18:00(入館は17:30まで) 月曜休館

岡山市デジタルミュージアム  
4階企画展示室

※JR岡山駅西口直結

**入場無料**

講演会

6月10日(日)『鹿田、古代・中世のにぎわい』

久野修義 (岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)  
「撰関家領鹿田庄と鹿田遺跡調査の課題」ほか4名

6月17日(日)『津島、自然のなかの縄文人』

千葉喬三 (岡山大学学長)  
「自然の循環と人間の暮らし」ほか3名

主催●岡山大学埋蔵文化財調査研究センター  
岡山市デジタルミュージアム

# 命の対話

## 自然と人間、 地中に埋もれた

岡山大学埋蔵文化財調査研究センター二十年の発掘成果展

### 展示内容

#### ●水とめぐみ

自然と共生し、生き抜く縄文人の知恵。弥生～近代の水田と灌漑施設にみる土地開発の歴史。編みかご(縄文時代)、水田(弥生時代)、水門(近世・近代)

#### ●心といのり

人びとが求めた心の癒し。縄文～弥生時代の人間性を心性からとらえる。装身具(縄文時代)、人面線刻土器(弥生時代)、人形土製品(弥生時代:倉敷市橋築遺跡)

#### ●荘園の世界

藤原摂関家領「鹿田庄」の世界。都へのあこがれ、経済活動の高まりにみる人びとの力。割り貫き井戸杵(古代)、猿形木製品(中世)、輸入陶磁器(中世)

#### ●戦いと人びと

身近に残る戦いの傷跡とそれを乗り越えていく人びとの力。棒火矢(近世)、「第十七師団」プレート(近代)

#### ●自然と人間、21世紀の岡山大学

自然と人間に関する岡山大学の研究成果を紹介。

そのほか、  
津島岡大遺跡・  
鹿田遺跡を中心に  
約400点を展示!!

猿形木製品  
(鹿田遺跡)



### ワークショップ

#### 遺跡から出土した土器や石器にふれてみよう!

- ・こわれた土器のカケラをつなぎあわせて、元のカタチに!!
- ・たくさんの石の中からホンモノの石器をみつけだそう!!
- ・「くぐつまわし」を捜せ!! ※「くぐつまわし」は展示会場にもいるよ!

#### 調査研究員による展示解説

●土曜日(6月9日・16日)は11時と14時 ●日曜日(6月10日・17日)は11時と16時

※事前申し込み不要

## Dialogue between LIVES: Human and Nature

### 講演会

デジタルミュージアム4階講義室 予約不要・参加無料〔定員約80名〕

#### 『鹿田、古代・中世のにぎわい』

6月10日(日) 13時15分～16時

「古代・中世鹿田の土地区画」 (山本悦世 当センター准教授)  
 「猿形木製品とくぐつまわし」 (岩崎志保 当センター助教)  
 「井戸と曲げ物」 (光本 順 当センター助教)  
 「新道遺跡の発掘調査」 (草原孝典 岡山市教育委員会文化財課主任)  
 「摂関家領鹿田庄と鹿田遺跡調査の課題」 (久野修義 岡山大学大学院社会文化科学研究科教授)

#### 『津島、自然のなかの縄文人』

6月17日(日) 13時15分～16時

「自然の循環と人間の暮らし」 (千葉喬三 岡山大学学長)  
 「津島岡大遺跡の縄文人」 (野崎貴博 当センター助教)  
 「種子から見た縄文風景」 (沖 陽子 岡山大学環境理工学部学長)  
 「縄文人の生活と津島岡大遺跡調査の課題」 (稲田孝司 当センター副センター長)

この地に生きた人びとが、自分たちを取り巻く自然あるいは社会とどのように向き合い、生き抜いてきたか。その生命力を、原始から現代まで、地中に残された足跡から描き出すことによって、現代社会が失いかけている自然と人間の命の尊厳や力強さを改めて考える場としたい。



岡山大学埋蔵文化財調査研究センター  
 〒700-8530 岡山市津島中3-1-1  
 TEL 086-251-7290  
 URL: www.okayama-u.ac.jp/user/arc/archome.html



岡山市デジタルミュージアム  
 〒700-0024 岡山市駅元町15-1  
 TEL 086-898-3000  
 URL: www.okayama-digital-museum.jp/

